

栗原地域だより

第 34 号

平成 29 年 11 月 1 日発行

目 次

- 全共宮城大会で栗原産和牛が大健闘！
～第3区と第5区で、優等賞第4席に入賞しました！～ p1
- みやぎ地域づくり団体協議会栗原支部で「地域づくり見学会」を実施しました p2
- 高次脳機能障害のご家族を対象とした「家族教室」に参加してみませんか？ p2
- 冬期閉鎖路線について p3
- 栗原市内の多面的機能支払交付金の活動を紹介します
～曾根地域環境を守る会～ p3
- 平成 29 年度「サイエンスプラス」を開催しました p4
- 農地整備事業「迫第四地区」の工事が始まりました p5
- みやぎ県北高速幹線道路の進捗状況について
～国産最大級クローラークレーンで一夜に架ける後沢本線橋～ p6
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p7

秋の世界谷地



全共宮城大会で栗原産和牛が大健闘！

～第3区と第5区で、優等賞第4席に入賞しました！～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

9月7日～11日に開催された第11回全国和牛能力共進会宮城大会において、栗原産和牛を含む県代表牛が優秀な成績を収め、全国に宮城県産和牛をPRすることができました。

栗原地区から出品された代表牛のうち、第2区（14～17ヶ月未満）では、菅原一研さん（瀬峰）が生産した「ゆりよし号」が優等賞第11席に、第3区（17～20ヶ月未満）では、熊谷良太さん（志波姫）が生産した「さくら76号」が優等賞第4席（全国第4位）に、第5区（繁殖雌牛群：産歴が3産以上）では、「ゆりしげ3号（兵藤浩さん・志波姫）」、「おかしげ号（岡本正宏さん・栗駒）」、「なえの2号（千葉たぢ子さん・金成）」及び「ゆいこ号（田中豊さん・金成）」の4頭が、同じく優等賞第4席（全国第4位）に入賞し、同時に特別賞「体積均称賞」を受賞しました。

また、関連行事として実施された和牛審査競技会では、後継者の部に第3区出品者の熊谷良太さんが宮城県代表として出場し、全国第2位の好成績を収めました。今回の成績は、宮城県として出品した過去10回の全共の中でも最高の成績で、栗原地区の和牛生産基盤が充実していることや、地域の和牛



第3区 優等賞第4席「さくら76号」



第5区 優等賞第4席の繁殖雌牛群の4頭

振興が今後も発展し続ける可能性を示す結果でした。

開催期間中、会場の夢メッセみやぎを訪れ、栗原地区の出品牛を応援していただき、ありがとうございました。

また、生産者の方々も、長い間大変お疲れさまでした。既に、5年後に開催される鹿児島大会に向け、新たなスタートを切っていることと思われませんが、これからも、宮城県産和牛、特に栗原産和牛の発展のため、ご協力をよろしくお願いいたします。



栗原地域の生産者と全共を支えた皆様

■お問い合わせ 畜産振興部 畜産振興班 Tel: 0228-22-2487

みやぎ地域づくり団体協議会栗原支部で「地域づくり見学会」を実施しました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

当事務所が事務局となっている「みやぎ地域づくり団体協議会栗原支部」は、平成27年度から栗原地域で地域づくりに取り組んでいる団体同士が互いにどのような活動を行っているかを知る「地域づくり見学会」を行っており、3年目の今年度は「アポロ吹奏楽団定期演奏会」、「花山湖秋まつり」、「六日町商店街」の3カ所を見学することとしています。

9月に定期演奏会を開催した「アポロ吹奏楽団」は、平成8年1月に地元情報誌「ジョイくりはら」での呼びかけにより結成され、多くの方々に音楽を楽しんでもらうため活動を行っています。3部構成で行われた定期演奏会の第2部では、小学校の吹奏楽部による演奏が行われるなど、地域に根付いた活動をされていることが感じられました。



アポロ吹奏楽団定期演奏会

また、10月8日開催の「花山湖秋まつり」では、地域の方々を中心となって組織されている実行委員会の佐藤治会長から、活動についてご説明いただきました。30回目の開催となった今年の「花山湖秋まつり」は、会員の方々のご努力もあり、前売り券の売れ行きが例年の1.4倍となり、準備も大変であったとのことでした。

以前には、「花山湖秋まつり」でアポロ吹奏楽団が演奏したこともあり、当事務所としても、地域づくり団体同士の繋がりが今後も広がっていくよう事業に取り組んでいきますので、活動へのご参加やご協力をお願いします。

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel: 0228-22-2195

高次脳機能障害のご家族を対象とした「家族教室」に参加してみませんか？

北部保健福祉事務所栗原地域事務所

交通事故や脳血管障害などが原因で発症する「高次脳機能障害」は、外見からは障害のあることがわかりにくいいため、「見えない障害」と言われています。ご家族は、ご本人の変化に戸惑ったり、悩んだりすることもあるかと思います。

このような状況を踏まえ、今年も、高次脳機能障害者のご家族を対象とした「家族教室」を開催します。

たちは器用に鎌を使い、初めての稲刈り作業に汗を流しました。昼食の時間には、今年一迫でとれた新米のササニシキのご飯や地元の食材をふんだんに使用した具だくさんの豚汁などが振る舞われ、稲刈り作業でお腹を空かせた児童たちはもりもりと美味しそうに味わいました。午後はトラクターなどの農機具見学が行われ、皆さん真剣な表情で構成員の説明に聞き入っていました。



稲刈りの様子

交流会の最後に、「今日体験できたことは、全て地域の皆さんのおかげです。この体験をこれからの学習にも活かしていきたいです」と児童の代表が感想を述べ、全員で元気よくお礼の挨拶をしました。児童たちの表情からも、非常に有意義な一日であったことが見受けられました。

なお、当日は説明の時間をいただき、当事務所から「農業と農村のいろいろなはたらき(多面的機能)」について紙芝居を用いてお話をしました。



ねじり ほんによも来てくれました



農業と農村のいろいろなはたらき

■お問い合わせ 農業農村整備部 管理調整班 Tel : 0228-22-2398

平成 29 年度「サイエンスプラス」を開催しました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

県は、栗原地域の小中学生に「科学・技術」や「人」をテーマとした体験学習の機会を提供することで、ものづくりへの関心を高めるとともに、将来的な地域産業の担い手を育成し、地域の持続的発展につなげる取り組みを行っています。

9月30日、東北職業能力大学校を会場に開催した平成29年度「サイエンスプラス」では、栗原地域の企業や高等学校、職業能力大学校等から20のプログラムが展され、多くの小中学生が訪れました。



完成したLEDペンダント

豊田合成株式会社(栗原市高清水)の出展プログラム「LEDペンダントを作ってみよう!」では、LEDがどのようなものであるかを学んだ後、実際にLEDペンダント作りを行いました。小学生の参加者の中には、お父さんやお母さんに手伝ってもらいながら製作し、光がついたときには一緒に喜んでいる姿が見られました。

このほか、栗原地域の高等学校 4 校から製作や実験等を内容とするプログラムが展覧され、高校生が参加小学生に製作方法を一生懸命に説明し、ものづくりの楽しさを伝えていました。

当日は、「東北ポリテックビジョン in 栗原」が同時開催され、約 290 人の来場がありました。

当事務所では、今後も地域のものづくり産業を担う人材の育成に取り組んでいきます。

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel : 0228-22-2195

農地整備事業「迫第四地区」の工事が始まりました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

当事務所では、農地の大区画化や農業水利施設の整備等を行う「農地整備事業」を通して、担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化等を推進しています。

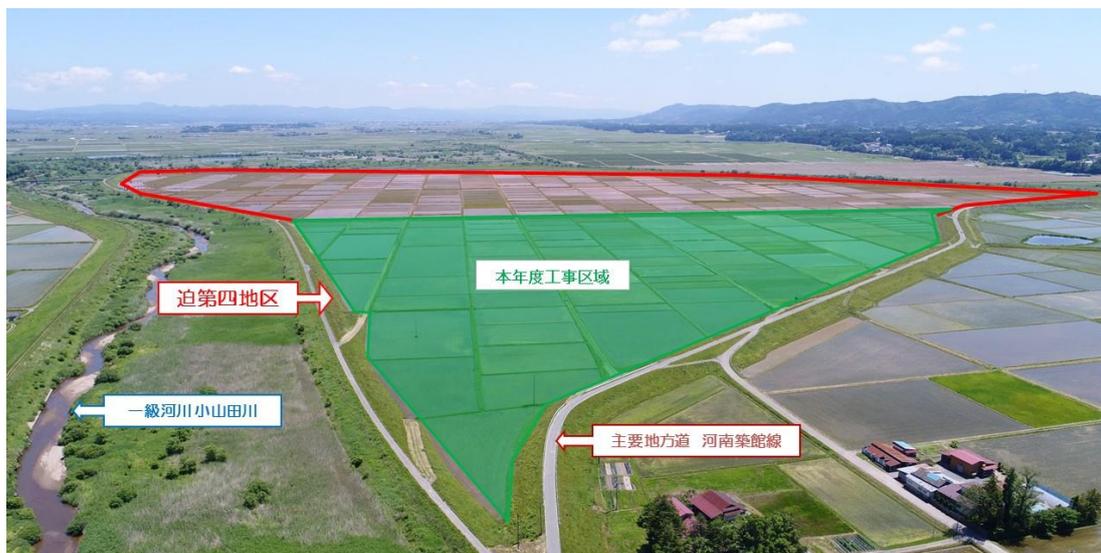
栗原市瀬峰及び大崎市田尻に跨がる「迫第四地区」は、県営の農地整備事業地区として昨年度に新規採択を受け、当事務所が工事等を担当しています。本地区は、蕪栗沼の西側に隣接する 87ha ほどの水田地帯であり、1 級河川小山田川の遊水池ともなっており、地元では「第四分区」とも呼ばれています。

既に 38ha ほどの区画整理工事を発注・着手していますが、今年度の工事箇所については、早期に工事に入れるよう、刈り取り時期が早い稲ホールクroppサイレーシ（※）で対応するなど、地元や関係機関と調整を行ってきました。その結果、9 月 19 日には工事に着手することができ、現在、工事の盛期を迎えています。

今年度の工事着手にあたり、地元の推進委員の皆さまからは、「早期の工事着工が実現し非常に喜ばしい」「地元の若手農業者が育ってきており、事業推進に向けて気運も盛り上がっている」「地元が一丸となって後世に残す素晴らしい水田の整備を進めていきたい」などの力強い声が寄せられています。

当事務所では、今後とも地元及び関係機関と連携して、「迫第四地区」の事業効果の早期発現に努めて参ります。

※ 牧草やトウモロコシなどの飼料作物を密閉して発酵させ、飼料用に保存します。これを「サイレーシ」といいます。サイレーシの材料として飼料用に栽培した稲を利用したものを「稲ホールクroppサイレーシ」と呼びます。



■お問い合わせ 農業農村整備部 農地整備第一班 Tel : 0228-22-2401

みやぎ県北高速幹線道路の進捗状況について

～国産最大級クローラークレーンで一夜に架ける後沢本線橋～

北部土木事務所栗原地域事務所

県は、東日本高速道路株式会社（NEXCO東日本）に委託し、みやぎ県北高速幹線道路と東北縦貫自動車道の立体交差部に架ける後沢本線橋の工事を行っています。

10月3日の午後10時から、東北縦貫自動車道を全面通行止めにして、橋桁の架設工事を行いました。

通常の橋桁工事は、橋桁を片側から押し出して架設しますが、今回は東北縦貫自動車道に与える影響を最小限に抑えるため、陸上で橋桁をすべて組み立て、夜間に一括で架ける工事方法としました。この橋桁を一括で架けるには、国産最大級の1,250t吊りクレーンが必要ですが、クレーンの足場の強度を確保するため、地盤を砕石に置き換えたのに加え、通常使用する厚さ20mmの鉄板と50mmの鉄板を重ねて敷きました。

工事関係者や多くの地元住民の見守るなか、午後10時40分に桁が吊り上げられ、約30分かけて橋台に据え付けられました。その後、桁を固定する作業が行われ、工事開始から2時間20分後の午前2時には、交通規制を解除することができました。

今後、コンクリート工事や附属物工事を進め、年内には完成する予定であり、橋梁が完成することで工事の更なる促進が期待されます。

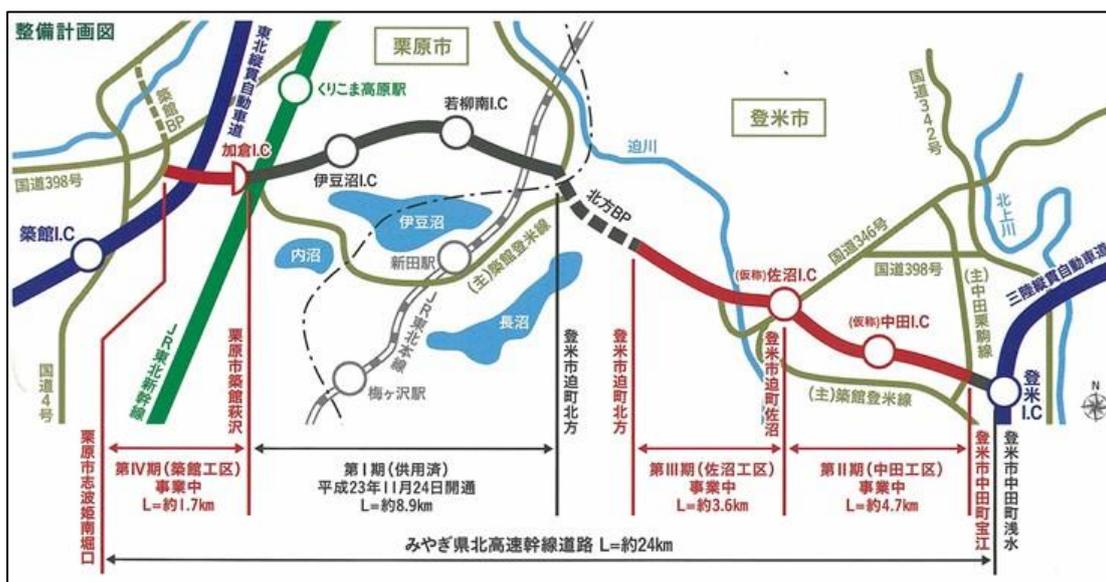
みやぎ県北高速幹線道路築館工区については、平成30年度内の供用開始を目指しており、現在工事の最盛期を迎えています。



架設状況



クレーンと人の比較



■お問い合わせ 北部土木事務所栗原地域事務所 道路建設班 Tel: 0228-22-2189

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

(平成 29 年 8 月 21 日～10 月 20 日)

北部地方振興事務所栗原地域事務所

8月21日から10月20日までの間に農林産物27点を簡易検査し、すべてが食品の基準値(100ベクレル/kg)以下でした。

このように、市場に流通している農林産物は計画的に検査して安全性を確認しておりますので、安心してお召し上がりください。

なお、栗原市産のこごみ、こしあぶら、たらのめ(野生)、野生きのこの4品目の山菜類は、出荷制限指示を受けており、市場や直売所等には出荷できません。

(原木しいたけ(露地)、たけのこについても、出荷制限が続いています。ただし、これらは一部地域(登録生産者)のみ出荷できる状況です。詳しくは林業振興部にお問い合わせください。)

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの(8/21～10/20)

農産物			林産物			
品名	施設	露地	品名	施設	露地	野生
えだまめ	—	◎	菌床マイタケ	—	◎	—
かぼちゃ	—	◎	原木ひらたけ	—	◎	—
ゴーヤ	—	◎	菌床ハタケシメジ	—	◎	—
こまつな	◎	—				
コリンキー	—	◎				
さつまいも	—	◎				
さといも	—	◎				
じゃがいも	—	◎				
ズッキーニ(2点)	—	◎				
とうがん(4点)	—	◎				
なす	—	◎				
にんじん(2点)	—	◎				
ねぎ	◎	—				
はくさい(2点)	—	◎				
ポポー	—	◎				
みょうが	—	◎				
山形青菜	—	◎				
れんこん	—	◎				

◎：基準値以下

—：検査未実施

※放射性セシウム濃度基準値

食品群	基準値(1kgあたり)
飲料水	10ベクレル
乳児用食品	50ベクレル
牛乳	50ベクレル
一般食品	100ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP を
ご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel: 0228-22-9437 (農産物)

林業振興部 林業振興班 Tel: 0228-22-2381 (林産物)

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 (地方振興部)

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木5-1 Tel: 0228-22-2195(直通) Fax: 0228-22-6284

E-mail: nk-khsinbk@pref.miyagi.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号(第35号)は平成30年1月5日発行予定です。

【コラム】 栗原市と仙台藩 vol.3



今年、2017年は初代仙台藩主・伊達政宗公の生誕450年にあたります。
そこで、県では政宗公の業績や郷土の素晴らしい歴史とともに、宮城の魅力を広く全国へ発信することを目的に、官民一体となってプロモーションに取り組んでいます。
「栗原地域だより」においても、栗原市内に残る仙台藩ゆかりの史跡や文化を、3号にわたってご紹介しています！

最終回である第3回は、伊達家の重臣であった鬼庭（茂庭）綱元によって文字地区に開山され、綱元の墓所でもある「洞泉院」です。

鬼庭綱元は、伊達輝宗・政宗・忠宗の3代に渡って伊達家に仕えた重臣で、特に政宗の治世においては、伊達成実・片倉景綱（小十郎）と並び「伊達三傑」と称されていました。天正13年の「人取橋の戦い」では、父・良直を失いながらも、主君・政宗を逃がすために奮戦し、天正18年に豊臣秀吉による奥州仕置が発端となって発生した「葛西大崎一揆」では、一揆鎮圧後の秀吉との折衝役として京都に派遣されるなど、政宗の右腕としてよく働き、藩の評定役や岩ヶ崎城主・伊達宗綱（政宗の五男）の後見役などを勤めました。

栗原市文字地区には、慶長6年に政宗から隠居料として1,100石を与えられ、寛永13年に政宗が死去した後に、政務を離れて余生を過ごしたとされています。

「洞泉院」は、政宗が死去した翌年の寛永14年に創建され、境内には政宗を弔う阿弥陀堂と早世した宗綱を弔う妙覚堂がそれぞれ建立されました。その後、寛永17年に死去した綱元の墓所が設けられ、その墓石には石仏が用いられました。

現在も綱元の墓所（石仏）は現存しており、また寺院内には綱元や異人をかたどった像が祭られています。



洞泉院の外観



綱元の墓所